

# サラスワティー

## 話すことと英知、音楽と芸術の女神

### イーシャ・サーデサイによる紹介

歴史を通して、そして世界のあらゆる文化において、人々はもっと何かが存在するのを知りたいと関心を抱き続けてきました。露の一滴の中にはもっと何かが存在するのでしょうか。葉の葉脈には、あるいは砂の一粒には、もっと何かが存在するのでしょうか。人々は、それらの命の神秘に深く入って行きたいと考える。その中に何があるのか、背後には何があるのか、向こう側には何があるのか、すべてを脈打たせるものは何なのかを突き止めるために。人々は知り、そうすることで超越したいと考える。

考古学者が大地を発掘して調査した時はいつでも、常に崇拝のための遺物が発見されてきました。幾度となく、彼らが発見した品々は、最古の文明においてさえも、人々がこの宇宙の神秘について知ることを、切望し探究していたことを証明しています。彼らの切望と探究が、彼らを多様な神格を発見することに導きました。それらの神格は、並外れた力と祝福を授ける能力を持ちました。

インドの賢人や預言者たちは、彼らが呼ぶところのデーヴィーやデーヴァター、すなわち神と女神たちについて、数々の教典の中で書いています。彼らは、それらの神格は形のないものに形を与えていると説明します——大変多様で美しい方法で、極めて優美で筆舌に尽くし難いものを明示しているのです。賢人や預言者たちは彼らのビジョンを、寺院と呼ばれる建造物の中に設置したムールティ、すなわち神像という形の中に表現しました。彼らは、マントラの力が注ぎ込まれた生命力、プラーナを、ムールティに吹き込むプラーナ・プラティシュターを行い

ました。人々がそれらのムールティにシャクティ、すなわち精神的力を体験した時、次に彼らは自分の家を飾るために、それらの神格の像を造形しました。

それぞれの神格は、賢人や預言者たちが瞑想やタパシャを通して体験した、神の特定の性質を象徴します。その神格が何を象徴しているかを知ることは、祈るための明確で具体的な方向性と、感謝の目的を崇拝者に与えます。それぞれの神格は、神を人々にとってより直接的で親しみのあるものにします。さまざまな神格は崇拝者たちに、そう、まさに彼らには神性を自身の中に呼び起こす力があるという保証を与えるのです。そして、さまざまな神格が崇拝者たちにダルシヤンを授けることで、崇拝者たちの神への信仰と、神は認知され得るという事実が具体化されます。

インドの教典の中で繰り返し称賛される神格の一つは、女神サラスワティーです。シュリー・サラスワティーは、この宇宙の創造の力を象徴しています。彼女は、話すこと、言葉、そして言葉に内在する英知の女神です。彼女は、音と音楽の女神であり、そして芸術の神です。

サラスワティーの名前は、「サラス」と「ワティー」の二つの部分に分かれます。「サラス」の文字通りの意味は、「サ・ラサ」、つまり「ラサ(本質)と共に」というものです。「ワティー」は、このラサを体現する者という意味です。ですからサラスワティーは、生命のあらゆる本質を体現する者、ということなのです。

サラスワティーという言葉はまた、この惑星上の生命を維持するための流れる水という意味としても使われます。これは、サラスワティーの中のラサという言葉に二つの定義があるからです。それは、例えば、言葉や言語、あるいは音や音楽の「本質」を指すと同時に、「樹液」、「液体」、あるいは「命を与える水」も意味しています。水のイメージは、サラスワティーとその力に関連して描かれることがよくあります。例えば、人々は持続する創造的なインスピレーションの体験を説明するために、しばしば「流れ」と表現することを考えてみてください。

インドのどこに行くかによって、女神サラスワティーは描かれ方が異なります。彼女の外見、姿勢、装飾はさまざまです。シッダ・ヨーガの道では、女神サラスワティーは、目覚めた内なる目を通して彼女のダルシャンを受け取った人々の前に現れた姿で崇拝されています。彼女は汚れない白いハスの花の上に優雅に座り、一般的に青緑色の川の岸辺にいます。彼女の四つの手は、それぞれ彼女の祝福を象徴するものを持っています。二つの手で、創造力を象徴する、豊かな旋律を持つ弦楽器であるヴィナーを持っています。また、マントラの繰り返しの力を象徴するジャパ・マラーも手にしています。そして、彼女が授ける知識と英知を表す本を持っています。彼女のヴァーハナ、すなわち乗り物は、ハムサー——白鳥です。

女神サラスワティーのシャクティと彼女の祝福は、私たちが日々の生活を創造し、そしてこの惑星とその住人たちの向上に貢献する上で不可欠です。有益で吉兆な方向に私たちの考えを向ける時、私たちが呼び起こすのはサラスワティーの祝福です。正直で、役に立ち、親切で、人を元気付ける話し方をする時、私たちが求めるのは彼女の恩恵です。魂をかき立てるような音楽を聴いたり演奏したりする時、私たちを通して流れるのは、彼女のインスピレーションです。私たち皆にとって普遍的なもの——美德や心情など——を表現する芸術とつながる、あるいは芸術を創造する時に受ける恩恵は、彼女の慈愛です。

マハーサラスワティー・ナモー・ナマー——マハーサラスワティーに敬意を表します！

